



甲佐小6年生がさつまいもの収穫を体験（下豊内）

うたごよみ 師走

「短歌」

渡辺幸士選

あどけなく澄んだ瞳の嬰子に幸多かれと
そつと抱きしむ
池田キヨ子

菊芋の花は可憐に咲きみだれ茎は天然のイ
ンスリンなり
緒方 明美

「秋萩の咲き散る野辺ぞ」古の歌人をしの
び萩の野をゆく
塚原 暁益

幾度か切らんとする木犀は屋根の高さに咲
きて香れり
内田乃武子

一瞬に濁流と化す千曲川溢れ止まらず街沈
みゆく
吉永由紀子

寒い朝猫日向ぼっこ名を呼べばミヤンと答
えて吾の相手す
赤星 文子

夏すぎて涼しい秋は来たけれど台風来ぬか
と不安が募る
上村やす美

秋雨に心さびしく独り身の妻の面影うかべ
酒酌む
白梅 武人

退屈は蝶々のごとく飛んで来て吾の孤独に
ひらりと止まる
渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士選

「にらむ」

あの男にらんだとおり悪だった
にらまれてこつそり止める気の弱さ
百年先にらんでほしい国づくり
林 雅之
日隈 俊郎
川村 文子

「酒」

もう一杯ください夢が醒めぬよう
ビアガーデン同床異夢のジョッキ挙げ
清川みどり
渡辺 幸士

「肥後狂句」

北川直美選

眠かこつ 発言せんちゃよか議員 広田みどり
眠かこつ ラグビー熱のまだ続き 下山 千恵
眠かこつ 母しか出来んお乳やり 志垣 光
眠かこつ 面白無アて眠か振り 佐藤 葵
眠かこつ 聞き役もたいぎやなきつか 平井やよい
眠かこつ 昼寝の癖がついたけん 長原 産賀
眠かこつ 葉のまあだ残つとる 佐野 京
眠かこつ 寝溜めする事ア出来んどか 光永 六
眠かこつ 進級かけた一夜漬け 井元あざみ
眠かこつ 一口だけで効いて来た 日高 美里
眠かこつ 下手な教授の長話 上田 梅清
眠かこつ 何さま飲うだ盗人酒 日隈 元良
眠かこつ 口走るなら冷かされ 北川 直美

お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
096・234・2447（内線321）

ひとの動き (敬称略)

10月11日(金)～11月10日(日)

birth				
お誕生おめでとう				
住所	氏名	性別	保護者	
白旗	渡邊 朝陽	男	和 樹	
白旗	山形 和誠	男	和 広	
仁田子	カンガスタージェーム	男	プレストン	

marriage				
ご結婚おめでとう				
	住所	氏名		
〔夫 妻〕	下横田	北畑孝太郎		
	下横田	本田花奈子		

condolence				
お悔やみ申し上げます				
住所	氏名	年齢	世帯主	
早川	山本 昭七	86	アイ子	
岩下	植村 眞知	92	稲葉政敏	
上早川	佐村 厚子	88	厚子	
津志田	葉山ツルエ	98	ツルエ	
津志田	一圓 伶子	82	秋 男	
仁田子	久佐賀アヤ子	73	アヤ子	
岩下	甲斐富美子	90	富美子	
津志田	北林 誠楠	80	誠 楠	
世持	志垣みどり	52	彰 英	
豊内	丸山イチ子	94	誠 喜	
糸田	本郷チエ子	87	博 行	

data		
甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	5,049	▲1
女	5,550	▲7
計	10,599	▲8
世帯数	4,286	▲1

令和元年10月31日現在

こうさの野菜で作ってみよう!



レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん(北原区)

焼き大根

ご存知ですか？

煮ても焼いても、そして生でも美味しい大根。実は弥生時代から食べられていたってご存じですか。

これからの時期は、忘年会などで飲んだり食べたりが増え、二日酔いで悩むことがあるかもしれませんね。そんなときのお助けマンガ「おろし大根」です。食べ過ぎたときの胃のもたれや消化を助けてくれます。二日酔いで辛いときも「おろし大根」の汁を飲むと、胃の重たく嫌な感じが解消します。

できれば「おろし大根」は皮ごとすりおろしてください。よりたくさんのビタミンCが肝臓の働きを高めてくれますよ。



作り方

- ①大根は皮をむき、厚さ1.5センチの輪切りにし、お湯で柔らかくなるまでゆでましょう。
- ②フライパンにゴマ油とサラダ油を熱し、薄切りにしたニンニクを入れ弱火で炒めます。ニンニクのいい香りがしてきたら、①の大根を1個ずつ丁寧に並べて焼いていきます。
- ③大根に均等な焼き色が付いたら、合わせ調味料を入れ、焦げ付かないよう注意してじっくり焼き上げます。
- ④皿に盛り付けて、刻んだ小ネギを散らしたら出来上がりです。焼き立てのアツアツをどうぞ!

材 料 (4人分)

大根	……………	1 / 2本
ニンニク	……………	2～3片
ゴマ油	……………	大さじ1 / 2
サラダ油	……………	大さじ1 / 2
小ネギ	……………	少々
合わせ調味料		
お好みの味噌	……………	大さじ2
赤酒	……………	大さじ2
しょうゆ	……………	大さじ1

日中も冷え込む日々が続く本格的な冬の到来を感じるようになりました。落葉樹は葉を落として晩秋の装いとなっています。今月号では、文化の秋・実りの秋・食欲の秋を楽しむ産業文化祭の様子をお伝えしています。これまで練習してこられた成果を発表するステージ上の皆さんは、とてもはつらつとされていたように感じました。今年の産業文化祭には、県立甲佐高校もご参加いただき、例年以上に活気のあるものになったのではないかと思います。

この広報紙が皆さんの手に届くころには、甲佐の冬を代表する「熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会」の幕も閉じ、令和初めての年越しに向けてせわしない日々が始まっているのではないのでしょうか。体調管理には十分気を付けて、多忙な師走を乗り切りましょう。(と)

編集後記